



2015年9月のロータリーレートは1ドル=124円

2015年 地区大会は10/24～10/25



「Be a gift to the world」世界へのプレゼントになろう

2015～16 K.R. “ラビ”ラビンドラン RI 会長

「ロータリーを楽しむ」

国際ロータリー第2610地区2015-16年度ガバナー柳生 好春

「楽しく活気のあるクラブを目指して」 金沢百万石 RC 会長 魏賢任



柳生好春ガバナー



稲山訓央 SAA

例会便り

第806回

2015.10.22 (木) 19:00

主計町 土家 2F

例会出席者 22/42 52.38 %

9月の平均出席率 65.63 %

開 会

四つのテスト

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるか

どうか



太鼓を叩く



若狭豊会長エレクト挨拶

人間の営みの中でエネルギー問題がありますが、社会生活がうまくまわるための電気エネルギーや、自然災害も一つのエネルギーですし、文化的な目に見えないエネルギー、宗教のエネルギーなどロータリーには色々なエネルギーが取り巻いており、私はロータリーというのはエネルギー活動だと思っております。純粋にエネルギー活動の一貫としてロータリーをとらえても良いのではないかと考えています。ロータリーの中では性善説を唱える方々が多く、いろいろな事件を見るにつけ心を痛める方が多く、そういうプラス的なエネルギーをこれからもロータリーの中で発揮していけたらいいと思います。

ゲストのご紹介

〔卓話者〕 AMDA(アムダ)社会開発機構 ネパール事務所 松本千穂 (まつもと ちほ) 様

2012～13年度米山奨学生 郭 純 (かく じゅん) さん 石丸恭子 (いしまる たかこ) 様

ビジターのご紹介 なし

幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕 大路孝之幹事：

- ・来週は地区大会振替のため休会となります。
- ・次回例会は11月5日19時よりホテル日航金沢3Fにて行います。



ニコニコBOX

¥ 6,000- 本年度¥ 272,000- 残高¥ 5,365,074-

大路孝之幹事：松本様、卓話よろしくお願ひいたします。郭さん、ようこそ。

土田初子会員：ネパールの復興を祈ります。

布施美枝子会員：18日(日)17時7分に母が天国に召されました。ロータリークラブからたくさんのお花を頂きました多くの方々にお参り頂きました。弔電も頂きました。とてもうれしかったです。母もきっと喜んでることと思います。ありがとうございました。

講話の時間

『ネパールからの報告』 AMDA 社会開発機構 松本千穂（まつもと ちほ）様

紹介者：武藤会員 私が地震の後ネパールへ行くことを宣言したところ、石丸先生の奥様からネパールへ行くのならということで松本さんのご紹介を受け、着いたその日に松本さんとお会いして、とうとうご縁です。実は昨日も石川ネパール協会でご報告をしていただき、連日で恐縮ですがよろしく願います。プロフィールを読ませていただきます。松本さんは2012年11月にネパールに赴任されまして、ネパール南西の平野部における母子保健事業及び首都カトマンズから約60キロ離れた丘陵地域の農村で地域開発事業に取り組んでいます。同時に2015年4月25日に発生した大地震の復興支援活動を行っていらっしゃいます。前職では約10年間にわたり金融系企業に勤務され、また青年海外協力隊としてアフリカニジェール及びザンビアでの活動経験がございます。



講話： ネパールからの報告 ～ネパール中部地震後の緊急・復興支援を中心に～



AMDA 社会開発機構 (AMDA-MINDS) のネパール事務所です。本日は卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

百万石ロータリークラブ様は、非常に活発に活動しておられると聞いておりますし、これまで各分野の一流の方々が卓話をしてこられたとので、私などがお話させて頂くのは非常に恐縮なのですが、今日は皆様には是非、約半年前に大きな地震に見舞われたネパールの被害の様子や緊急救援活動・復興支援活動について知って頂きたく、武藤様・石丸様ご夫妻にご紹介頂きまして、こう

してお時間を頂いた次第です。

AMDA 社会開発機構 (AMDA-MINDS) について



まず、私が働いております NGO について少し紹介させていただきます。1984年に岡山で設立されたアムダという NGO があります。アムダは、国内・海外を問わず、地震・洪水等の自然災害等で緊急医療支援が必要となった地域に医療従事者を緊急派遣する「緊急救援事業」を核とする活動をしています。しかし、災害直後に命を救うだけでなく、特に発展途上国など、生き延びた人々が被災後に普通の生活を取り戻すため、それ以上の貧困に陥ることを防ぐためには、災害が一段落した後も中長期で社会開発を支援する必要がある場合もございます。そのような活動をアムダ内で担っていた海外事業本部を独立・別法人化させ生まれたのが、私が所属しております AMDA 社会開発機構 (AMDA-MINDS) です。



AMDA グループは、日本の中でも比較的古株の NGO と言ってよいと思います。グループとして国連の経済社会理事会において総合協議資格を有しています。経済社会理事会が協議するあらゆるトピックスに関して、NGO の立場から意見を述べるができるというもので、日本ではまだアムダを含め、数団体のみとなっています。

現在 AMDA 社会開発機構は、母体となったアムダから引き継ぎその後も継続している事業と新たに始めた事業を合わせ、6か国（ホンジュラス、インドネシア、ミャンマー、ネパール、シエラレオネ、ザンビア）で「健康の向上」と「貧困の削減」に取り組んでいます。私はその一つ、ネパールの事業に2012年から携わってきました。

ネパールと AMDA-MINDS の事業地について

ネパールは、小さい国です。14.7万平方キロメートル（北海道の約1.8倍）。日本（37.79万平方キロメートル）の約3分の1。奄美大島と同じくらいの緯度でございます。人口は約2649万人で、日本の5分の1程度ですね。世界最高峰エベレストのある国であるため、私も赴任前は国全体が険しい山に囲まれているようなイメージを持っていました。しかし、実際は山岳地帯、丘陵地帯、平野部があり、標高70mから8848mまで起伏に富んだ地形をしています。

そんなネパールで、AMDA-MINDS は2つの事業をそれぞれ別々の場所で実施していました。平野部のルパンデヒ郡での母子保健事業と、丘陵地域にあるカブレバランチョウク郡（略してカブレ郡）での生活向上事業です。カブレの事業対象村では住民の9割が天水に依存する自給農業によって生計を維持しています。村の人口の半数以上を占めるタマン族は、カースト制度によって肉体的労働にしか従事することが許されず、特に女性は人身売買の対象となる等、ネパール社会の中で長く抑圧されてきた歴史があります。現在は、カーストや民族に基づく職業選択の制限は撤廃されていますが、依然として経済的に厳しい状況におかれています。ここで、私たちは昨年からの農業技術研修や灌漑施設の建設に向けた準備をはじめたところでしたが、今年4月25日に発生したネ

パール中部地震で村は大きな被害を受けてしまいました。

ネパール中部地震について

2015年4月25日にM7.8の大地震が発生し、5月12日には数ある余震の中でも最大のM7.3の余震にも見舞われました。震源とマグニチュードの大きさを示した分布図をご覧くださいと分かるように、震源地は首都カトマンズの北西部から北東部にかけて地域で、人口の集中している首都近郊とその周辺の丘陵・山岳地帯が被災しました。

ネパールには全部で75の郡がありますが、そのうち14郡が主要被災地として指定されています。私が住んでいるカトマンズも、被災した事業地カブレ郡もその14郡に含まれております。ネパール全土では、死者約9000人、負傷者22000人、全半壊した家屋は53万戸以上に上ります。郡別に死傷者数をまとめたUNHCR（国連高等難民弁務官事務所）の資料をご覧ください。カブレ郡では全体で7番目に多い負傷者が報告されました。カトマンズ、ラリトプール、バクタプールは首都およびそれに隣接する人口密集地で、家屋の倒壊により多数の負傷者がでました。シンドゥバルチョウク郡は土砂崩れで村ごと、家も畑も全て押し流された地域も多く、他の郡に比べて死傷者数に占める死者の割合が非常に高いことが特徴的です。震災後の報道でもその様子が多く取り上げられましたので、地名にご記憶はなくても、ニュースでご覧になった映像がシンドゥバルチョウク郡のものであるということは多いと思います。



カブレバランチョウク郡の被害

私たちが緊急救援と復興支援活動を継続しているカブレ郡内の3か村は合計で約1400世帯、支援の規模としては決して大きくはありません。ただ、私たちは震災直後の緊急支援だけでなく、その後の状況の変化に応じた支援を数年間のスパンで継続し、村人の生活レベルを以前の水準に戻すだけでなく、震災前に生活向上事業が目標としていた通り、以前よりも生活レベルを向上させるというゴールを目指して息の長い支援を続けていく予定です。

この3村では幸い人的被害はほとんどありませんでしたが、何と言っても家屋の被害が甚大でした。約1400世帯中1000世帯が全半壊、亀裂が入った世帯を含めると9割近い世帯が住宅に被害を受けました。被災直後に村人が間に合わ

せの材料で作った仮設テントの写真をご覧にいます。汚れた家畜小屋用のシートを転用した家族もいますし、それすら持たないため養鶏小屋に家畜と一緒に避難していた家族もいました。地震発生から数カ月経った今では、倒壊家屋のトタン板を再利用したり、経済的に余裕のある世帯であれば新たに購入したりして、もう少ししっかりした仮設住宅を建てた家族も見られます。しかし、未亡人と姑さんの女性しかいない世帯やダリット（伝統的な階級制度であるカースト制度で最下層に位置付けられ「不可触民」とされてきた人々）の世帯など、社会的弱者は依然として貧弱な仮設テントでの生活を余儀なくされており、同じ村の被災者間にも格差が生じています。

もちろん家屋だけでなく、ほぼすべての学校の校舎が被害を受けまして、子どもたちは屋外のテントの下での授業を余儀なくされました。地割れや土砂崩れも村内各所で見られました。

緊急救援・復興支援活動

AMDA-MINDSは地震発生直後、まず耐水・耐久性のある防水シート879枚を配布し、ネパール政府等からの支援と合わせ、全ての世帯に最低1枚のシートが行き渡るように支援を行いました。あわせて公立の村の診療所に医薬品も提供しました。その後は、3校で仮設校舎の建設にも取り組みました。ただ現時点では、1校につき1棟（2教室）ずつですので、生徒数に対してまだまだ不足していますし、既存校舎の修繕・耐震補強、建て直しを含め、今後どのような支援ができるか検討しているところです。また、地震後、これまで使っていた水源が枯れ、別の水源まで毎日片道数時間かけて水汲みに行かなければならなくなった集落の10世帯には、雨水貯水タンクの緊急設置を行いました。しかし、これだけでは乾季には問題が再燃しますので、年間を通じて安定的に安全な水を確保できる根本的な解決策を講じる必要があります。



今後の支援活動としては、これから迎える冬に備え、最貧困世帯が仮設住居を建設するためのトタン板の提供と、全壊・半壊した家屋の安全な解体と瓦礫の撤去に向けた技術研修を予定しています。すでに従前から実施していた生活向上事業を再開していますので、農業技術研修や灌漑施設の建設を進め、農産物生産と農業収入の増加を後押しすることで、住民が自力で早期に自宅の再建を始められるよう包括的な支援を行う予定です。

最後に



シンドゥパルチョウク郡などのように死傷者数が多かったり、大規模な土砂崩れが起こったりした特定の地域はメディアにも取り上げられ国内外から支援が殺到する一方で、ニュースとして取り上げられることもない大多数の「平均的な」被災地の中には支援が行き届いていないところもあります。また、震災後約半年が経ち、日本を含め海外で報道される機会はほとんどなくなりましたが、復興への道のりは長く、必要な支援の内容は変化しても支援の必要性そのものはなくなっておりません。地震大国ニッポンの私たちこそ、地震発生から時間が経っても被災者への共感を失わず、折々に思い出してお一人お一人ができる支援というものをお考え頂ければ、ネパールの人たちにとってこれほど心強いことはありません。

ご清聴ありがとうございました。

質疑応答・謝辞・謝礼

閉 会

《 会 場 準 備 》

―――郭 純さん歓迎会並びに会員親睦会の開会―――

郭さんのご紹介：武藤会員



〔略歴〕

2008年 中国北京語言大学入学（専攻：日本語）

2011年 編入生として金沢の北陸大学入学（専攻：金融・会計）

2013年 東京大学公共政策大学院入学（専攻：経済政策）

2014年 アメリカカリフォルニア大学サンディエゴ校留学（専攻：政策研究）

現在 みずほ銀行営業14部（担当先：REIT、飛行機ファイナンス等）

〔受賞歴〕

ロータリー米山奨学生（2012 - 2013年度）

平成24年度石川県留学生スピーチコンテスト優勝

2010年中日友好の声日本語スピーチコンテスト北京と天津地域2位

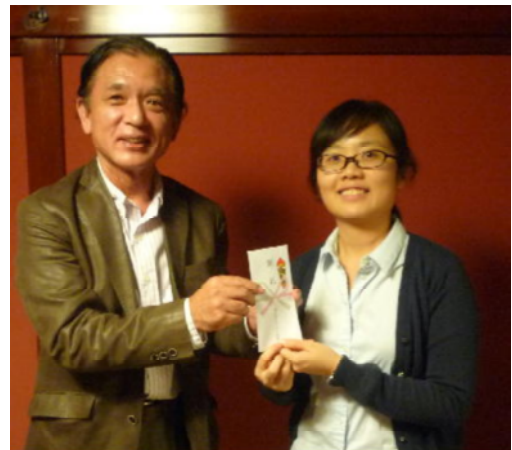
郭純さんご挨拶：今日は金沢へ戻れることを非常に嬉しく思います。私は今、大手町にあるみずほ銀行本社で営業の仕事をしています。まだ入社1年目なのでそれほどお客様があるわけではないですが、同期入社の中でのファイナルテーションで優勝が決定しました。そして、銀行を選んだ理由は2011年以降は金融と経済をやっているという風を見て、ロータリーの皆さんを見て、自分の好きなことを専門的にやるのが良いという風に考えて日本で就職しました。金沢から離れて2年半色々な活動をしておりまして、2013年東大在学中にシンガポール大学からの留学生と東北地方を訪ねて福島県相馬市で震災後の状況を見て、政策の重要性を感じました。その後もグループでダム建設についてのレポートをまとめたこともあります。毎日充実した生活を送っています。今回は新幹線で金沢へ来まして、インフラによる経済の効果が随分と目に見えました。東京へいらっしゃる際に連絡していただければ嬉しいです。



《 食 事 》

乾杯： 金沂秀会員





歓迎会閉会 郭 蕓さんに御礼

パストガバナーからの手紙 240回 2015.11.5
 リッチなノーベル賞受賞者 炭谷 亮一

大村智博士が2015年のノーベル医学生理学賞に決まった。大村さんは熱帯地域で猛威をふるった河川盲目症（オンコセルカ症）という病気が存在し、蠅の4分の1程のブユが吸血することにより罹患する伝染病だ。これを撲滅寸前にまで追いやった特効薬「イベルメクチン」を開発したことで受賞の栄に裕したのだ。

投薬効果は絶大で、WHOによれば1997年の一年間だけで3300万人が失明の脅威から救われたそうだ。現在では発生地域において無償で投与されている。またイベルメクチンは犬のフィラリア症に対する特効薬にもなり、犬の長寿化をもたらした、もちろんほとんどの家畜にも投与されており、日本だけで年間30億円を売り上げるベストセラー薬だ。

大村さんは定時制高校の教師から「学び直し」を決意して、大学院へ進学・卒業した苦労人だ。北里研究所の抗生物質研究室に実験助手として採用されたのは29歳であった。研究者としては遅いスタートだったが、転機が訪れたのは1971年36歳の時に米国ヴズレーヤン大学教授マックス・ティシュラーの研究室への留学だった。ティシュラーは1972年に世界中で10万人の会員を擁する全米化学会の会長職に選ばれた斯界の重鎮だ。同時に業界第二位の米製薬大手、メルク社の研究所長として主力製品を次々と開発し「メルク社中興の祖」と呼ばれる製薬業界の実力者でもあった。1973年に北里研究所から帰国せよとの命令を受ける、定年間近の所長は大村を自分の後任にするつもりだったからである。

当時北里研究所は研究費不足に見舞われていた。そこで大村は帰国の際には米製薬会社から研究費をとってこいと厳しい注文をつけられていた。大村が創薬（イベルメクチン）につながる天然化学物質を発見し、特許をとる。特許の専用実施権を製薬会社に与え、会社はこれをもとに薬を開発し販売する。儲けの一部の特許権使用料として北里研究所に払うと言う仕組みだ。この時ひと肌ぬいでくれたのがティシュラー教授だった。古巣のメルク社に、大村の仕事ぶりを売り込んでくれたのだ。ティシュラー教授の口利きが功を奏し、他社が提示した金額を一桁上回るロイヤリティー（研究費）を手に入れることが出来た。現在までのところ総額200数十億円にのぼっている。このロイヤリティーは北里研究所の研究費に使われているのはもちろんであるが、以下は特異的な使用方法だ。

- ①埼玉県北本市に北里大学メディカルセンターをつくり地域医療を担う総合病院となっている。
- ②出身地の山梨県韮崎市に「韮崎大村美術館」を寄贈
- ③同じく入浴施設の「武田乃郷白山温泉」を寄贈
- ④人材育成を図る「山梨科学アカデミー」を設立
- ⑤女子美術大学の留学奨学金制度を設立

研究成果の対価としてこんなに稼いだノーベル賞受賞者もめずらしいのではないだろうか。

最後に大村博士は恩師ティシュラーを深く敬愛し、師が亡くなった1987年から2年おきに自腹を切って「マックス・ティシュラー記念講演会」を開催し続けている。斯界の一流学者を海外から招聘し、若い日本の学生とじかに触れあえる場を提供するためである。大村博士はテレビの放映で見る限り、学者然とは感じられずヒュウヒュウとした人柄の好人物の様だ。

でもいつも外出時にはポケットにビニールの小袋を持ち歩き、これわと思われる土壌を採取し、抗生物質として使える微生物を何んとか発見してやろうと言う研究者魂に敬意を表したい。

杵屋喜三以満会員の御母堂の杵屋喜澄さんの3回忌公演



120 人格調高く二十番

杵屋喜澄さん三回忌追善

石川県指定無形文化財保子 杵望合（本社など後持者の杵屋喜澄（望月太以））は25日、金沢市の県立音楽堂邦楽ホールで開かれた。特別出演の長唄人間国宝杵屋喜三郎さん、囃子望月流家元の望月太左衛門さんや、門弟、金沢素囃子子ども塾のメンバーら総勢約120人が全二十番を格調高く披露した。

女性一同の「若菜摘」で幕を開け、喜澄さんが熱心に指導した金沢素囃子子ども塾の1〜5期生や、現役の6期生45人が「木広狩」を堂々と響かせた。

喜三郎さんが作曲、喜澄さんが構成した「金沢逍遥」や、喜澄さんが会長代行を務めた県邦楽舞踊特選会（現・県邦楽舞踊協会）の重鎮らによる「藤娘」のほか、喜澄さんが好んだ華やかな曲が並んだ。

「壇の浦」を披露する出演者
 金沢市の石川県立音楽堂

北國新聞 2015 10.26 (日)



杵屋喜三以満会員の御母堂の杵屋喜澄さんの3回忌公演とあって一門総出演でした。 杵屋喜三以満会員はじめ 藤間勘菊会員が出演された。

当日は馳文部科学大臣も見えられ、郭蕓さんらと記念撮影

地区大会格調高く 厳粛にはでやかに



「歓迎のご挨拶」
 高島正光 地区大会実行委員長

本年度の地区大会は10月24日(土)・25日(日)の2日間にわたり、白山RCがホストクラブとなり、開催しました。



RI 会長代理 康義勝御夫妻

地区大会 第1日 10/24 (土)

第2日 10/25 (日)

時間	内容	参加対象者	会場
11:00 12:15	地区大会委員会	地区大会各委員	グランド ホテル白山
13:00 14:20	指導者育成セミナー (講師：鬼丸昌也)	会長・幹事 次期会長・幹事 五大奉仕委員長 地区役員	白山市 松任学習 センター
14:35 16:50	本会議 I [表彰] (講師：小船井修一)	会長・幹事 次期会長・幹事 五大奉仕委員長 地区役員	白山市 松任学習 センター
移動			
17:30	RI会長代理ご夫妻 歓迎夕食会	各クラブ会長・幹事 地区役員	グランド ホテル白山

時間	内容	参加対象者	会場
12:30 14:20	本会議 II-1	全会員	白山市 松任文化 会館
14:40 16:15	記念講演 (講師：五木寛之)	全会員	白山市 松任文化 会館
16:15 17:00	本会議 II-2 [表彰]	全会員	白山市 松任文化 会館
移動			
18:00 20:00	大懇親会	全会員	白山市 松任総合 運動公園 体育館



康義勝 RI 会長代理の挨拶

大会の講師



鬼丸昌也氏
認定NPO法人
テラ・ルネッサンス理事
こうして僕は世界を変える
ために、一步を踏みだ
した。



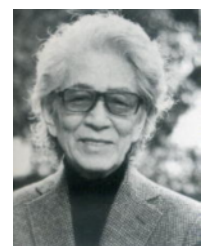
小船井修一氏
(株)エイコー代表取締役
ロータリーの職業奉仕



ロータリー財団協力優秀クラブ賞 (150ドル以上) 魏賢任会長



米山奨学生
郭 蕓さん (中国)



五木 寛之氏



大会の鍵の伝承



次年度地区大会ホストの南砺 RC

第 5 回日台ロータリー親善会議の御案内

2016.6.5 (日) pm 1 より 石川県立音楽堂
コンサートホール

13:00 ~ 14:00 登録受け付け

14:00 ~ 15:20 会議 挨拶 活動報告

15:40 ~ 17:00 記念講演

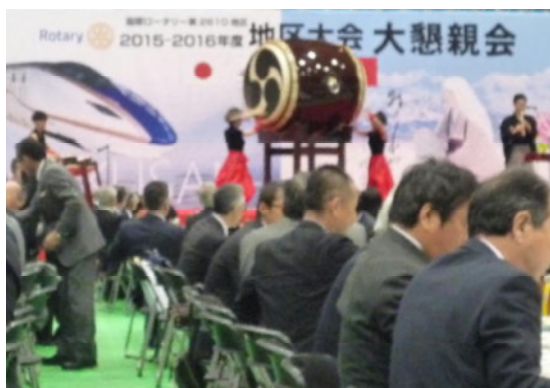
田中作次 RI 元会長

黄其光 RI 直前会長

18:00 ~ 20:00 懇親会

登録料 20,000 円 〆切り 2016.2.29 (月)

———大懇親会———



金沢百万石RCの皆様へ 郭 蕪さんから

今日無事に東京に戻りました。短い間でしたが、里帰りな気持ちでロータリーアンの皆様と再び金沢で再会し、たくさん交流できたことに非常に嬉しかったです。地区大会でホームカンニングの制度を利用し、出席できたことも今後思い出になるでしょう。まだ東京での働きが始まったばかりなのですが、精一杯頑張りますので、皆様も東京にいらしたときには是非気軽にご連絡ください。金沢百万石クラブを始め、ロータリーのますますのご発展と皆様のご健康をお祈りします。 郭 蕪

百万石クラブとの合同例会を! 南光州 RC から

15-16 年度 3710 地区大会は 2016 年 5 月 28 日 - 6 月 1 日の 2016 ソウル国際大会会場である KINTEX (ソウル近郊高陽市) で 5 月 30 日開催する予定です。国際大会に南光州クラブでは 45 名程参席し、百万石クラブと合同例会も希望します。

クラブ例会予定

- 11/5 ホテル日航金沢 3F 「孔雀の間」
金大脳神経外科教授 中田 光俊様
11/12 於: 招龍亭 2610地区R財団委員長
黒川 伸一様
11/19 19:00~「オープンロータリー」
フラワーガーデン (県庁近く) 21:00
11/26 於: 招龍亭「会場変更例会 (オープンスタイル)
並びに社会奉仕フォーラム」 20:30 飛騨産業
(株)代表取締役社長 岡田賛三様
2016 1/7 (木) 18:30 新年合同 ホテル日航 4F

2015 ~ 16 役員・理事・委員会

(役員) 会長: 魏 賢任 エル外: 若狭豊 副会長: 上杉輝子 幹事: 大路孝之 副幹事: 武藤清秀
会計: 西村邦雄 直前会長 宮永満祐美

(理事) 東海林也令子 (クラブ管理運営委員長) 水野陽子 (奉仕プロジェクト委員長)
金 沂秀 (会員組織委員長) 藤間勘菊 (広報委員長)

常任理事: 石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー: パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智 監査: 後出博敏
(委員会)

クラブ管理運営委員長: 東海林也令子 副: 稲山訓央

親睦: ○武藤清秀 二木秀樹 川きみよ 金沂秀 杵屋喜三以満 後出博敏 大沼俊昭 相良光貞 高田重男
辰己クミ 若狭豊 山崎正美 竹田敬一郎 表靖子 矢来生和 野村礼子

例会: (プログラム/出席) ○井口千夏 江守巧 宮永満祐美 水野陽子 吉田昭生

SAA: ○稲山訓央 西村邦雄 宍戸紀文 ニコニコ: ○布施美枝子 宍戸紀文

友好・クラブ細則: 細則 CLP 検討 ○江守巧 岩倉舟伊智 富山西 RC との交流 岩倉舟伊智 藤間勘菊 木場紀子

直前委員長: 二木秀樹

金沢北 RC との合同例会 ○二木秀樹 杵屋喜三以満

その他友好クラブとの交流 ○石丸幹夫 藤間勘菊 村田祐一 東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長: 水野陽子 副: 川きみよ

職業: ○村田祐一 二木秀樹 井口千夏 若狭豊 永原源八郎 谷伊津子

社会 (新世代・青少年を含む): ○永原源八郎 北山吉明 東海林也令子 武藤清秀 谷伊津子

国際: ○炭谷亮一 世界社会奉仕 (R財団) ラオス支援 ○炭谷亮一 岩倉舟伊智 西村邦雄

描き損じハガキ ○江守道子 米山奨学会 ○藤間勘菊

青少年奉仕 ○上杉輝子 国際青少年交換 (日韓など) ○上杉輝子 金沂秀 吉田昭生

直前委員長: 北山吉明

会員組織委員長: 金沂秀 副: 井口千夏

会員増強: ○大路孝之 江守道子 石丸幹夫 岩倉舟伊智 野城 勲 宮永満祐美 炭谷亮一
永原源八郎 高田重男 修練 北山吉明 江守巧 石丸幹夫 木場紀子 直前委員長 金沂秀

広報委員会委員長: 藤間勘菊 副: 宍戸紀文 広報: ○上杉輝子 石丸幹夫 ロータリー情報: 宍戸紀文
藤間勘菊 布施美枝子 会報・ホームページ: 石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 藤間勘菊

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州: 金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央: 炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東: 炭谷 杵屋 水野 高崎: 石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、日台親善会議実行委員会顧問 R 米山記念奨学会委員会カウ
ンセラー 炭谷亮一 社会奉仕委員会委員長 谷伊津子 危機管理委員会委員 石丸幹夫 広報委員会委員 藤間勘菊

日台親善会議実行委員会 宮永満祐美 R 米山奨学会委員会委員 (米山奨学金/学友会担当) 大路孝之

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒 920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ 1 ビル 2F 〒 920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00 ~ 15:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00 木 15:00 ~ 20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 大路孝之